

農業振興 — 「食育」推進を提案!

福岡県議会議員
【古賀市】

田辺かずき 県政報告

古賀発! ただいま
県政刷新中!

~第14号~
2013年12月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります!】
■決算特別委員会!
筑紫野古賀線整備
■古賀のみなさんと
久保区で対話集会

田辺一城の 発信箱

福祉の充実 補助犬普及も
を審査
福岡県議会は
10月29日〜11

□前年度決算
に開会した12月定例会で決
算を認定しました。

□道路整備の促進を

特に、古賀市内でも4車
線化を進めている筑紫野古
賀線について、さらなる整
備促進を要請。また、農業
に対する国民意識の向上、
とりわけ次世代を担う子ど
もたちへの「食育」につい
ては、農業とともに歩んで
きたわが国の国柄を伝え、
永続していくためにもつと
も注力すべきものと考え、
田植えや調理実習での県産
果樹の活用などの「体感」
できる仕組みづくりを提案
しました。

□福祉のまちづくり

この秋も市内全域を駆け
回りました。サンコスモ古
賀で開かれた「健康福祉ま
つり」では介助犬と触れ合
うことができました。私
は記者時代から介助犬や
盲導犬など身体障害者補
助犬の問題に取り組んで
きており、12月定例会で
は所属会派の代表質問で
「福祉のまちづくり」を
推進する重要性を提起し、
その中で補助犬の普及・
啓発と育成支援も求めま
した。

□2014年に向けて

県議としての活動は間
もなく丸3年となります。
市内各地の地域行事を回
り、全域で対話集会を開
催し、県政報告書やブロ
グなどのインターネット
も活用し、地元の方さん
の「声」を聞かせていた
だきながら県政の前進に
つなげてきました。20
14年もこの姿勢を貫き、
活動していきます。寒さ
が厳しい折、ご自愛くだ
さい。

古賀で福岡県原子力防災訓練を実施

古賀市への住民避難を想定した福岡県原
子力防災訓練が11月30日、初めて実施され
ました。古賀市は福岡県原子力災害広域避
難基本計画に基づき、九州電力玄海原発
での災害時に糸島市から住民400人の避難
を受け入れることになっています。私はこ
の事を踏まえ、訓練に先立つ10月29日の
決算特別委員会で、「避難者を受け入れる
市町村の体制整備」をテーマに質問をして

おり、今回の避難訓練では私からの提案も
生かされました。
訓練では、糸島市民約40人が大型バスで
古賀市民体育館に避難。誘導や名簿作成な
どの受け入れやスクリーニング(除染)、
健康相談の訓練を実施。古賀市は訓練の前
日から、市民の皆さんに防災行政無線やメ
ールを使って事前告知し、当日も防災行政
無線を活用して情報周知訓練を行いました。



身体障害者補助犬の問題は記者時代から取り組んできた
=10月20日、健康福祉まつりで



政治活動を連日発信中!

田辺かずき で 検索

ブログ(政治活動日記) <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
公式ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
Twitter アカウント → @tanabe_kazuki



筑紫野古賀線の整備促進を要請!

古賀3工区

県「早期整備に努力」

決算特別委員会の質疑で私は▽主要地方道・筑紫野古賀線の整備(4車線化)促進▽食育の推進と県産農産物の消費拡大▽原子力災害時の広域避難を受け入れる自治体の役割▽県内全体の子どもたちの体力向上を指す取り組み▽行政による少子化対策のあり方―をテーマに質問し、課題と改善策を提起しました。今回、特に筑紫野古賀線について報告します。

福岡県は古賀市から筑紫野市を結ぶ筑紫野古賀線(延長33.4キロ)について、基幹的道路整備の重要事業と位置づけ、整備を進めています。国道3号線とともに県の南北方向の広域的な幹線道路網の一翼を担い、大規模災害時の救援活動や物資の輸送などでも不可欠な緊急輸送道路でもあります。

現在は1日でも概ね2万台の交通量があり、2030年には1.5倍の3万台に上ると推計。渋滞解消と

安全確保のために2車線区間の4車線化を促進しなればなりません。古賀市内の整備状況は、延長6.360キロのうち、青柳のグリーンパーク入口交差点までの4.620キロに達している。さらに昇華苑入口交差点までの「古賀2工区」(900メートル)については、13年度の完成を目指して工事を進めています。

質疑で焦点を当てたのが、昇華苑入口から新宮町の野までの「古賀3工区」(840キロ)。12年度に事業に着手していますが、的野から先の「新宮工区」が先行して4車線化する見通しのため、古賀3工区が一時的に「ボトルネック」となる状況が想定されています。私からこの問題を指摘

し、県は「古賀市内は道路幅員狭小区間が多い北側から整備。新宮町内も現道の混雑が激しいことからバイパス整備を進めている。一時的に古賀3工区のみが2車線の状態が想定されるが、十分な安全対策を講じるとともに、その期間ができるだけ短くなるよう、早期整備に努める」との趣旨を説明しました。

加えて、私からは特に筑紫野方面ほど2車線の区間が多いため、福岡県がアジアンに誇る九州国立博物館(太宰府市)へのアクセス向上の観点からも整備促進を要望しました。

このほかの質疑についてもブログに詳細報しています。

秋もイベントが盛りだくさん。市内全域の運動会や文化祭をはじめ多くの行事に参加しました。青柳・石瓦組合の運動会にも参加し、楽しませていただきました。古賀東校区や古賀西校区、小竹区の防災訓練、大根川の清掃活動、市民健康スポーツの日、市民駅伝、米多比・興山園の紅葉狩りなど充実した日々でした。「ミュージカルオペラk・i」の公演「メリーウイドウ」にもゲスト出演。そして、最大のイベント「まつり古賀」では今年も「K-1(古賀の



➤一品)グランプリ」が開催。こうした農業振興の取り組みを契機に生まれた古賀の新ヒーローでスイートコーンをPRする「ヨメニコーン改」や、イチゴのあまおうをイメージした「ストロングベリー1号」とともに満喫しました。



みなさんとともに古賀での活動

対話集会を開催 — 古賀東校区

11月27日夜、久保区公民館で開催。古賀東校区の多くの皆さんが足を運んでくださいました。ご参加いただいた皆さんに心から感謝を申し上げます。政治家の活動の基本は住民の皆さんとの「対話」と考えています。これは新聞記者の経験を踏まえ、「現場主義」に徹している私の信念です。この日も多くのご質問やご意見、ご要望をいただきました。

私からは経済政策の展開、県道・河川の整備、医療・介護体制の強化、地域防災体制の構築、農商工連携・6次産業化の推進、ネット依存の防止策の展開、生活困窮者対策の重要性、環境保全などについて詳細に説明。さらに2013年度から詳細設計に取り組んでいる都市計画道路・中川熊鶴線の進捗を報告しました。長年の懸案を着実に進めています。



<田辺かずき プロフィール>



1980年5月16日生まれ
1987年/暁の星幼稚園 卒園
1993年/花鶴小学校 卒業
1996年/古賀中学校 卒業
1999年/福岡県立福岡高校 卒業
2003年/慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社/福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年/大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事(当時)、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
2011年/福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会(〜13年)
国際交流推進対策調査特別委員会(〜13年)
【所属】福岡県議会・新社会推進商工委員会
同・防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会
民主党青年委員会副委員長
【家族】会社員の妻、6歳の長男、3歳の長女

【最近の私事】共働きをしながらの子育て。できるだけ多く子どもたちと過ごす時間を作ろうと、私が足を運ぶ様々なイベントに連れていきますが、とても喜んでくれます。/舞の里おやじバンドの皆さんと共演して歌わせていただける機会もあり、見ていた娘は興味津々。/議会質問を考案して煮詰まっても、子どもたちと風呂に入った時、話をしたりする機会があれば、次への活力になりますね。

経済強化 — 古賀を国際戦略総合特区に指定

政府は10月、環境を軸とした産業の国際競争力を強化する「グリーンアジア国際戦略総合特区」のエリアに古賀市を指定しました。エネルギーの効率化をはじめ環境負荷の低減に貢献できる産業集積地として認められたもの。2014年には指定区域内(天神、駅東、花見南の一部の区域)で計画に基づき事業を実施する企業は、課税の特例措置や金

融上の支援などを受けられることとなります。

特区政策に関しては、「福岡県の経済を強くする」との観点から、知事に問題提起したこともあり、古賀の指定はとて喜ばしく思います。今回、古賀などの追加指定が実現し、福岡県全体の特区の区域面積は183.7平方キロメートルに拡大しました。(特別号Vol.3で既報)

